

第6回 孤独死現状レポート

一般社団法人日本少額短期保険協会
孤独死対策委員会
2021年6月

孤独死現状レポートとは

・ 孤独死現状レポートとは

☞「協会孤独死対策委員会」各社が持ち寄った孤独死支払案件データを統計化し、賃貸住居内における「孤独死の実像を統計データで示した」初めての資料。孤独死のデータを集積し分析を行い、孤独死の実態について、業界内外に発信することで、孤独死の問題点やリスクについて社会に広く知ってもらうことが今回のレポート発表の主旨。

・ 本レポートにおける孤独死の定義

☞「自宅内で死亡した事実が死後判明に至った1人暮らしの人」

・ レポートの対象となる期間

- ①対象：少額短期保険会社の家財保険（孤独死特約付き）に加入している被保険者
- ②収集したデータ：孤独死対策委員をはじめ、協力会社から提供された孤独死のデータ
- ③収集の対象期間：2015年4月～2021年3月までの孤独死のデータ
- ④データ収集項目：年齢、性別、事故発見日、死因、死亡推定日、都道府県、発見者、発見に至った事由、居室平米数、遺品・残置物の撤去費用（損害額・支払保険金）
原状回復費用（損害額・支払保険金）、家賃保証（支払保険金）

孤独死者の男女比と年齢

男女別孤独死人数と死亡時の平均年齢 (n=5,543)

項目	男性	女性	合計
人数	4,614(3,698)	929(750)	5,543(4,448)
割合 (%)	83.1(83.1)	16.9(16.9)	-
死亡時の平均年齢 (歳)	61.6(61.6)	60.7(60.7)	61.6 (61.6)
65歳未満者の割合 (%)	51.9(51.9)	52.4(52.4)	52.0
平均寿命 (歳)	81.41	87.45	-

※平均寿命は 厚生労働省「令和元年年簡易生命表」より
() の数字は前年度数値

○孤独死者の平均年齢は男女ともに約61歳。

○高齢者に到達しない年齢で亡くなっている人の割合は50%を超える。

○下表の網掛け部分は、現役世代の孤独死死者の割合を示した。全体では40%が現役世代のうちに孤独死でなくなっている。

男女別死亡年齢の構成比 (n=5,045) ※年齢が不明なデータを除く

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	合計	現役世代の割合
全体	210	325	511	971	1,545	1052	431	5,045	—
割合	4.2%	6.4%	10.1%	19.2%	30.6%	20.9%	8.5%	100.0%	40.0%
男性	138	243	409	853	1,368	875	295	4,181	—
割合	3.4%	6.1%	9.8%	20.4%	34.1%	21.8%	7.4%	100%	39.3%
女性	72	82	102	118	177	177	136	864	—
割合	8.3%	9.5%	11.8%	13.7%	20.5%	20.5%	15.7%	100%	43.3%

孤独死者の死亡原因①

死因別人数と男女別死因の構成割合 (n=5,365)

死因別人数

死因	病死	自殺	事故死	不明	合計
人数(人)	3,518	579	73	1,193	5,365
割合 (%)	65.6	10.9	1.3	22.2	100

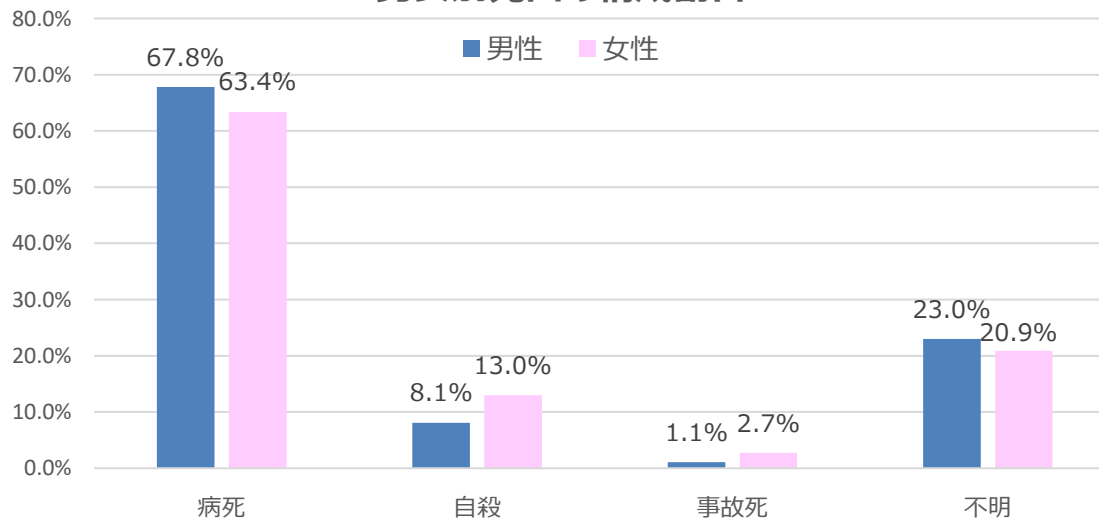
○死因の割合で一明確になっている事例のうち、一番高いのは病死で、次に自殺となっている。「不明」に関しては、ほとんどの場合、病気に起因した死亡が該当すると考えられるが、データ上読み取れないため、不明のまま計上としている。

○自殺割合を男女別にみると、女性の方が自殺率が高い。この傾向はこれまでのレポートすべてにおいて、示されている。

○全国民の全員死因における、自殺の割合(※)が1.4%となっており、孤独死に占める自殺の割合は突出して高いことが分かる。

※厚生労働省「令和元年(2019)人口動態統計(確定数)の概況」より

男女別死因の構成割合



孤独死者の死亡原因②

年齢階級別自殺者の割合

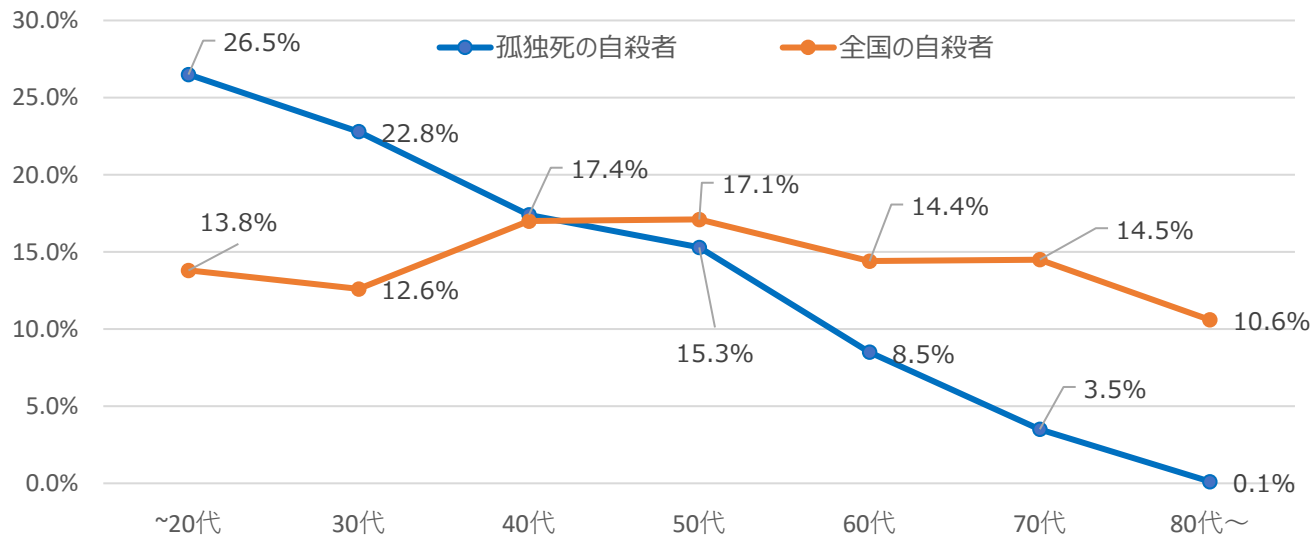
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
孤独死全体	26.5%	22.8%	17.4%	15.3%	8.5%	3.5%	0.1%
男性	23.2%	23.7%	23.1%	17.5%	8.7%	3.7%	0.0%
女性	39.2%	25.4%	13.9%	9.0%	8.2%	3.3%	0.8%
全国平均	13.8%	12.6%	17.0%	17.1%	14.4%	14.5%	10.6%

○左表は、孤独死における自殺者と全国の自殺者（※）の年齢階級別の割合である。

○孤独死の自殺者のうち女性の場合、20代までの年代がおよそ4割を占める。全国の自殺者平均と比較すると3倍程度の開きがある。若い世代の女性の自殺は、賃貸住宅入居者特有の問題である可能性がある。

○2020年は女性の自殺が多い報道を目することが多くなっているが、孤独死においては、従前より20代の女性の自殺率が一番高い。

孤独死・全死因別自殺者の割合比較



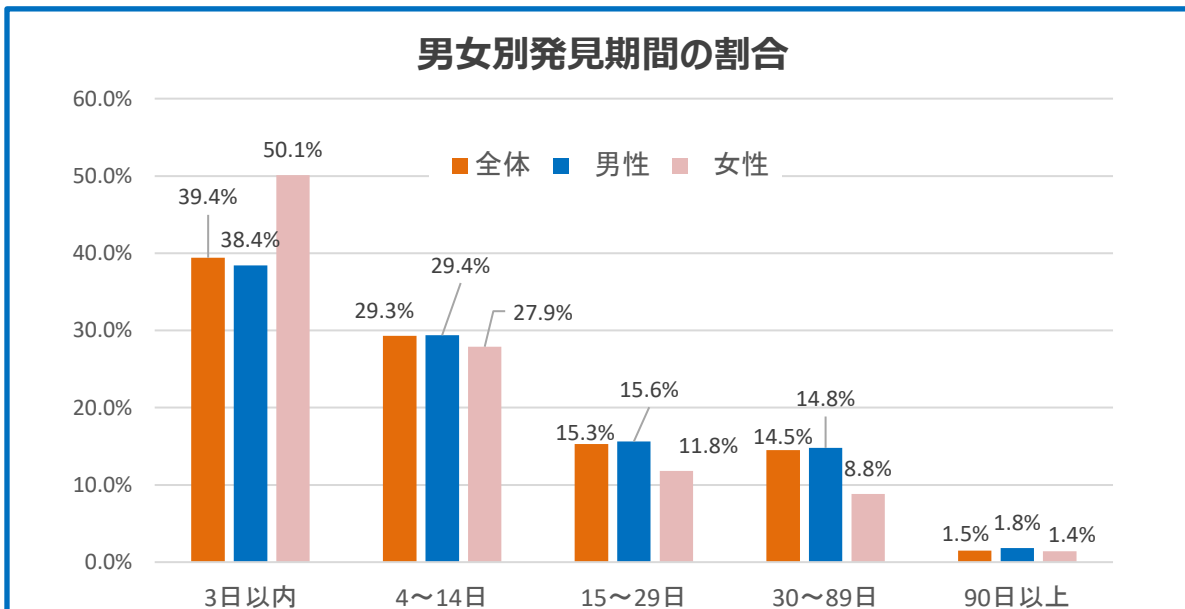
（※）厚生労働省自殺対策推進室・警察庁生活安全局生活安全企画課「令和元年中における自殺の状況」より作成

発見までの日数

発見までの日数と男女比 (n=4,617)

	3日以内	4～14日	15～29日	30～89日	90日以上	平均
全体	39.4%	29.3%	15.3%	14.5%	1.5%	17
男性	38.4%	29.4%	15.6%	14.8%	1.8%	17
女性	50.1%	27.9%	11.8%	8.8%	1.4%	17

男女別発見期間の割合



- 孤独死発生から発見までの平均日数は17日で、男女差は無い。
- 性別の比較を見ると、女性の半数が3日以内の早期発見につながっている。全体で見ても、およそ4割が早期発見につながっている。
- 一方、15日以上経過して発見される割合も3割以上ある。
- 男女差を比較したグラフを見ると、4日以降の発見に大きな男女差は無いが、3日以内の早期発見については、大きな乖離が生じていることがわかる。

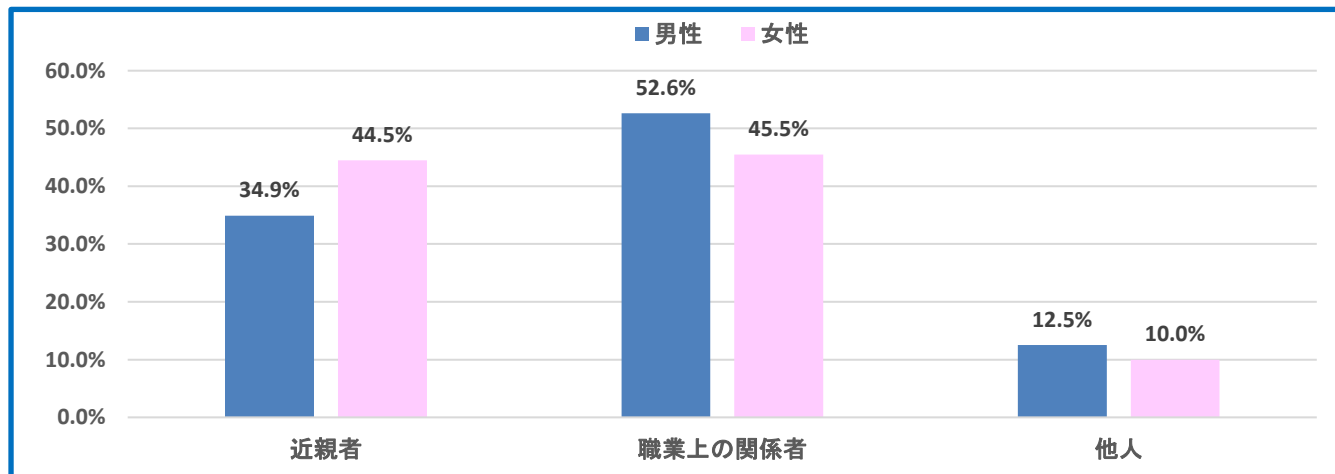
発見者

第1発見者の構成 (n=4,083) ※発見者不明を除く

発見者	親族	友人	管理	福祉	警察	他人	合計
人数(人)	1,005	591	1,012	755	234	486	4,083
割合(%)	24.6%	14.4%	24.7%	18.5%	5.7%	11.9%	100
属性	近親者(39.0%)		職業上の関係者(48.9%)			他人(11.9%)	

- 孤独死の発見者の特徴として、親族や友人、いわゆる近親者が発見者となるケースは、全体の約4割。
- 職業上の関係者による発見が、およそ5割にのぼり、そのうち24%が、不動産管理会社やオーナー等が第一発見者となっている。
- 男女で比較してみると、女性は近親者が発見に至るケースが男性より10ポイント程度多い。
知り合いとの連絡や近所付き合い等、男性より、社会との関わりが高いことを裏付けている。

性別による第1発見者の構成比



※各項目の説明「親族」=親族、「友人」=友人・知人・会社・学校等の関係者。「管理」=不動産管理会社・オーナー・代理店等。「福祉」=ケアワーカー・配食サービス・自治体・配達業者・ガス電気等の検針員等。警察=警察、消防。他人=隣人等も含む。

発見原因

発見原因の構成 (n=3,385) 発見原因不明を除く。

	音信不通 訪問	異臭 居室の異常 (※)	家賃滞納	郵便物の 滞留
人数	1,899	852	335	309
割合	56.1%	25.1%	9.8%	9.1%
発見までの 平均日数	14	23	28	23

(※) 居室の異常とは、入居者の死亡により虫の発生や、水漏れ・電気の付けっぱなし等が含まれます。

○音信不通と異臭などによる居室の異常によって発見に至った割合は、全体の8割を超える。

○発見原因別の発見までの平均日数をみると、音信不通の平均が14日となっており、それ以外は20日を超える。早期発見の鍵は、入居者との密な連絡・やり取りにあるといえる。

○早期発見した事例と、長期した場合を比較すると、どちらも音信不通・訪問が最も発見に至った割合が高いが、30ポイント以上の開きが生じている。

早期発見・長期化した場合の発見原因

	音信不通 訪問	異臭 居室の異常	家賃滞納	郵便物の滞留
3日以内	85.6%	9.4%	2.4%	2.6%
30日以上	51.2%	28.2%	15.3%	5.3%

どのように発見されたのか

- ・家族が連絡が取れないため訪問したところ、自殺した形跡があった。（100歳超女性／死亡から発見まで6日）
- ・定期清掃会社より、当該戸室の水が流れっぱなしになってりうとの連絡があり。管理会社より入居者に連絡するもつながらず訪問し通報。（60代 男性／死亡から発見まで31日）
- ・家賃未納、食事もありしていない様子であったため、半年くらい前から大家が定期的に訪問。生活保護申請をするよう市の職員と大家が訪問したところ死亡発見。（50代 男性／死亡から発見まで1日）

季節毎の孤独死発生割合

月別孤独死者数 (n=4,681)

季節	冬		春			夏			秋			冬	合計
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	—
人数	401	345	351	422	355	399	478	471	343	367	404	345	4,681
割合 (%)	8.6%	7.4%	7.5%	9.0%	7.6%	8.5%	10.2%	10.1%	7.3%	7.8%	8.6%	7.4%	100
季節毎の割合	23.3%		24.0%			28.8%			23.7%				—

○季節毎の孤独死者数については、大きな特徴が見られないが、単月ベースでみると7月・8月に多い傾向がある。

○地域別孤独死者の平均年齢は、関東と関西では60歳を超えているが、それ以外の地域では60歳未満が平均年齢となっている。

地域別孤独死者の平均年齢 (n=4,933)

	北海道 東北	関東	北陸 中部	関西	中国 四国	九州 沖縄
孤独死時の平均年齢	58.1歳	62.8歳	59.1歳	61.5歳	58.4歳	57.2歳
発見までの平均日数	17日	17日	15日	14日	17日	16日

○発見に日数については、地域別でみても大きな乖離は見受けられない。

損害額と支払保険金

・残置物処理費用

平均損害額 (n=3,647)	平均支払保険金(n=3,560)
¥235,865	¥231,216

最大損害額	最小損害額	最大支払保険金	最小支払保険金
¥1,781,595	¥1,080	¥990,000	¥1,080

・原状回復費用

平均損害額 (n=4,709)	平均支払保険金(n=4,285)
¥389,594	¥332,043

最大損害額	最小損害額	最大支払保険金	最小支払保険金
¥1,528,329	¥5,400	¥3,000,000	¥5,400

・家賃保証費用

平均支払保険金 (n=226)
¥298,440

損害額、支払保険金の平均は昨年と大きな差異は見られない。

(参考) 単年分析

(1) 2020年度の男女別孤独死人数と死亡時の平均年齢(n=1,095)

項目	男性	女性	合計
人数	916	179	1,095
割合 (%)	83.7%	16.3%	100%
死亡時の平均年齢	62.7	61.9	62.6
65歳未満者の割合	48.1%	44.6%	47.6%
平均寿命	81.41	87.45	-

- ・これまでの累積データとの比較をすると、男女比率については、単年度ベースでみても大きな変化は見られない。
- ・死亡時の平均年齢が男女ともに1歳程度上昇しており、65歳未満（高齢者）の割合も減少している。

(2) 発見までの日数

男性	女性	全体
17	17	17

- ・発見までの平均日数に変化は見られなかった。単年ベースでみてもコロナ禍の影響が発見日数に変化をもたらす可能性は薄い。

(3) 発見までの日数

	音信不通 訪問	異臭 居室の異常 (※)	家賃滞納	郵便物の 滞留
人数	487	160	52	26
割合	67.2%	22.0%	7.2%	3.6%
発見までの 平均日数	15	23	30	25

- ・レポート本編と比較し、「音信不通・訪問」は56.1%で2020年度では10ポイント程度、割合が上昇している。

(参考) 単年分析

(4) 第一発見者の構成

発見者	親族	友人知人	管理会社	福祉	警察	他人	合計
人数	306	136	109	153	30	20	754
割合	40.6%	18.0%	14.5%	20.3%	4.0%	2.7%	100%
属性	58.6%		38.8%			2.7%	100%
	近親者		職業上の関係者			他人	

- ・近親者の発見の割合が、累積ベースと比較し20ポイント以上高い。
- ・コロナ流行に伴い、単身者入居者とその家族の連絡頻度が高まった結果、近親者の発見につながった可能性もある。

(5) 年別自殺者数

■ 2020年

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
自殺	2	5	10	5	6	7	10	7	10	7	2	2	73
うち男性	2	5	10	5	4	7	8	5	9	5	1	1	62
うち女性	0	0	0	0	2	0	2	2	1	2	1	1	11

■ 2019年

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
自殺	3	4	7	9	8	7	7	11	7	8	6	6	83
うち男性	2	2	6	7	5	4	7	11	4	8	2	4	62
うち女性	1	2	1	2	3	3	0	0	3	0	4	2	21

■ 2018年

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
自殺	3	10	6	9	9	13	17	7	8	7	6	6	101
うち男性	2	6	6	7	9	9	14	6	6	6	6	6	83
うち女性	1	4	0	2	0	4	3	1	2	1	0	0	18

- ・過去3か年で見て、年別・月毎で比較しても特段、特徴的な変化は見受けられない。

孤独死対策委員会及びデータ提供会社

アイアル少額短期保険株式会社

アクア少額短期保険株式会社

あすか少額短期保険株式会社

株式会社あそしあ少額短期保険

eーNet少額短期保険株式会社

エイ・ワン少額短期保険株式会社

SBIいきいき少額短期保険株式会社

SBI日本少額短期保険株式会社

株式会社FIS

ジック少額短期保険株式会社

ジャパン少額短期保険株式会社

セキスイハイム不動産少額短期保険株式会社

全管協少額短期保険株式会社

東京海上ウエスト少額短期保険株式会社

東京海上ミレア少額短期保険株式会社

日本共済株式会社

少額短期保険ハウスガード株式会社

レキオス少額短期保険株式会社

社名五十音順